

2020年4—6月期

4 グローバル・マクロ経済見通し

6 米国株式

PERUVEMBA SATISH, CFA
チーフ・インベストメント・
オフィサー
ディシプリンド株式

KEVIN TONEY, CFA
チーフ・インベストメント・
オフィサー
グローバル・バリュー株式

GREG WOODHAMS, CFA
共同チーフ・インベストメント・
オフィサー
グローバル・グロース株式

8 米国外の先進国株式

KEITH CREVELING, CFA
共同チーフ・インベストメント・
オフィサー
グローバル・グロース株式

9 新興国株式

KEITH CREVELING, CFA
共同チーフ・インベストメント・
オフィサー
グローバル・グロース株式

グローバル株式
インベストメント・アウトルック
2020年4—6月
(2020年4月17日時点)

INVESTMENT
OUTLOOK

主要論点

- ▶ 景気後退が迫っていますが、米国の成長は引き続き他の先進国の成長よりも堅調であると予想しています。
- ▶ 中央銀行の緩和的政策は新興国市場にとってポジティブですが、直面している逆風を抑えるには十分ではないかも知れません。
- ▶ 経済成長の長期見通しのテーマは変わらないと考え、集中投資運用においては、株価の低下した銘柄を厳選して組み入れています。
- ▶ 引き続き企業をファンダメンタルズに基づいて評価し、特に新興国市場においては、地元の消費者と国内経済に焦点を当てた企業に注目しています。エネルギー・セクターのバリュエーションは魅力があるように見えるかもしれませんが、今後も激しい変動が予想されるため慎重な判断をお勧めします。
- ▶ 日々の株価変動に基づいて判断をしないで下さい。むしろ、この機会に、資産配分が目標運用期間や短期的なボラティリティの許容度に沿っているかどうか、見直すことをお勧めします。

はじめに

2020: 究極のストレス・テスト

リスクに対して、どのくらいの許容度をお持ちでしょうか？数十億ドルの信託運用者であっても、退職やその他の投資目標のための個人投資家であっても、この質問に対する答えは、目標運用期間と共に、長期投資戦略の核心です。

リスク選好の度合いを正確に判断、測定することは至難の業です。企業役員の投資家でも、投資アドバイザーでも、オンラインの質問票に回答している投資家でも、許容できるボラティリティを正確に把握することは容易ではありません。様々なシミュレーションの範囲でポートフォリオのストレス・テストを行い、上限と下限を特定することはできますが、計画を実行に移すまではリスクはただの概念に過ぎません。そして、実行に移したとしても、2020年初めの数カ月に起こったようなことを経験をするまでは、本当の自分のリスク選好度合いを把握できないかもしれません。

以下の出来事を考えてみて下さい：世界中に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が蔓延する不安な状況を背景に、11年間のブル相場は突然終焉を迎え、わずか26日間で史上最高値からベア相場に転落しました。この期間にダウ工業株平均株価は、数日のうちに日次ベースで最大の下げ幅と上げ幅の両方を記録しました。そして、安全と考えられた資産への逃避が米国債利回りを記録的な低水準へ押し下げました。これはあらゆる投資家やポートフォリオにとって究極のストレス・テストでした。

混乱を通じて考える

このインベストメント・アウトLOOKを書き上げようとしている3月中旬現在、パンデミックは拡大中で、私達は財政・金融刺激策の詳細を待っています。このような不確実性がある中で、私達の投資チームは長期的な投資機会を模索し、リスク管理を行い、日々運用に取り組んでいます。まずは以下の点にご留意下さい。

- パンデミックが引き起こしている混乱の影響を正確に予測することは困難です。
- パニックを起こさないことが大切です。規律ある投資行動をとって感情的にならないことが長期的投資の成功への道だと考えています。
- ウイルスとそれがもたらす混乱を撲滅するには、公衆衛生対策と、財政・金融政策を組み合わせる必要があります。
- 2008年、金融システムに影響を与える金融危機が発生しました。2020年、私達は、経済に直接影響し投資家心理を揺るがす公衆衛生危機に直面しています。市場の信頼感を回復させる政策を注意して待ちましょう。

リスク許容度をもう一度考えてみて下さい

COVID-19が私達のコミュニティにどのように影響するか、について理解する初期段階にあります。この不確実性と信頼感の欠如のため、今後数週間、あるいは数カ月間、ボラティリティが高い状態が続くでしょう。従って、これは、皆様の長期的な投資戦略が、ご自身の目標運用期間に適合し、短期的なボラティリティを受け入れる姿勢が伴っているかどうかを確認する良い機会かもしれません。

私たちのファンドに投資していただき、ありがとうございます。

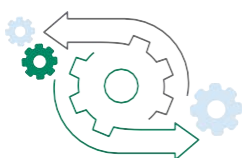


VICTOR ZHANG

チーフ・インベストメント・オフィサー
アメリカン・センチュリー・インベストメンツ

グローバル・マクロ経済見通し*

グローバル経済



ウイルスが景気後退懸念の引き金に

米国経済は縮小へ

COVID-19の影響と原油価格の急落が米国の経済成長を圧迫すると予想しています。世界のサプライチェーンや職場の途絶、設備投資や個人消費の鈍化、エネルギー・セクターの低迷のため、目先の米国経済は縮小するでしょう。しかし、米国の経済は他の先進国の経済よりも堅調であると私達は予想しています。

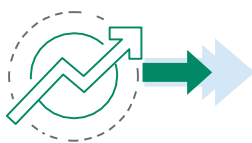
欧州はさらに鈍化

欧州経済はコロナウイルス発生以前から鈍化していました。ウイルスや原油を巡る経済的な難題のため、下降トレンドは続くと思われています。英国では、政府関係者は、急速なCOVID-19拡大を抑制する最中、2桁パーセントの経済活動の縮小に直面しています。

中国の問題は一段と深刻に

中国の湖北省で発生したウイルスによる深刻な経済的被害を受けて、中国経済は第1四半期に7%近く縮小しました。これは、中国が統計を開始した1992年以来初めての縮小です。

インフレ



世界のインフレは低下する傾向

米国のインフレは低下

コロナウイルスを巡る経済的なショックと原油価格の低下のため、目先のインフレ率は著しく低下すると考えています。ブレイクイーブンインフレ率(市場の長期予想インフレ率)も過去平均を大幅に下回ると予想しています。

欧州のインフレは弱い

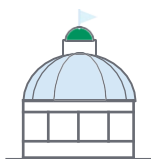
欧州のインフレ率はパンデミック以前から下降トレンドでした。COVID-19による物価下落や原油価格の急落のため、欧州と英国のインフレ率は中央銀行の目標値を大きく下回ると考えています。

ほとんどの新興国においてインフレは引き続き目標値を下回る

ほとんどの新興国においてインフレ率は低く、中央銀行の目標値を下回っています。大幅な通貨切り下げのためインフレ率が急騰したトルコとアルゼンチンは例外です。中国では、コロナウイルスの発生を阻止する管理政策のため、最近ではインフレ率が低下しています。

* 2020年4月17日時点の見通し

金融政策



中央銀行の積極的な措置

米準備制度理事会(FRB)が大胆に行動

ほぼゼロの政策金利や大規模な金融救済パッケージにより、FRBは金融システムの安定を維持するために如何なる手段でもとる意向を示しました。マイナス金利は望まないと政策立案者が表明していることから、これ以上の利下げはないと私達は考えています。加えて、大規模な財政刺激策の効果により、FRBは金利を維持することができると考えられます。

欧州、英国は行動を起こす

コロナウイルス危機によって引き起こされる経済的リスクの増大を受けて、欧州中央銀行は資産購入プログラムを強化しました。しかし、更なる刺激策を行える余地は少なくなっています。英国銀行は、主要貸出金利を過去最低水準の0.1%へ引き下げ、資産購入を増やしました。

中国、利下げ

第1四半期の急速な経済縮小を受けて中国人民銀行は、政策金利である貸出金利を過去最低水準である3.85%へ引き下げました。これは、コロナウイルス対策として2度目の利下げです。

金利



金利低下へ

米国債利回り低下

世界の経済成長とインフレに関する継続的なリスクとFRBの利下げを受けて、米国10年国債の利回りは1.0%を下回る過去最低値を記録しました。質への逃避が続き、利回りは非常に低い状態で推移すると予想しています。また、FRBの緩和的政策も低金利を長引かせるでしょう。

欧州金利は再び0%を下回る

経済成長の鈍化や、安全とされる資産への投資、中央銀行の政策を背景に、多くの欧州国債の利回りは再びマイナス圏に入りました。英国の金利は高めでプラスを維持している一方、日本では、日本銀行の継続的な刺激策のため、金利は引き続きマイナスです。2020年中は非常に低い金利が続くと予想しています。

新興国の金利は引き続き高め

先進国の金利が低いため、私達は引き続き一部の新興国市場を選好しています。特に、メキシコ、ペルー、インドネシアなど、金利が高く、今後低下、あるいは安定することが予想される市場に引き続き注目しています。

米国株式



PERUVEMBA SATISH, CFA
チーフ・インベストメント・オフィサー
ディシプリンド株式



KEVIN TONEY, CFA
チーフ・インベストメント・オフィサー
グローバル・バリュー株式



GREG WOODHAMS, CFA
共同チーフ・インベストメント・オフィサー
グローバル・グロース株式

「既知の未知」は、ウイルス感染と犠牲者コストの程度です。

不確実な環境では質と収益性が鍵

これまでの数四半期にわたって私達は、世界の経済状況が徐々に改善し、それに伴って景気後退の可能性が低下すると書いてきました。最近まで、世界の経済活動が安定、または改善していることを次々にチャートで示すことができました。しかし、世界中に蔓延するコロナウイルスがこのような進展を止めつつあります。経済指標や企業決算は過去を振り返るものですので、COVID-19の影響を定量化するデータの入手はまだ始まったばかりです。

当初は、経済的な影響はウイルスに直接さらされている地域やセクターに限られていました。しかし今や、無傷な場所は見当たらないほど経済の隅々まで影響が広がっています。最良シナリオであるV字型の低下と回復のためには、COVID-19患者数をある程度抑制し、迅速に安定させる必要があります。しかし、中央銀行の利下げと幅広い財政刺激策による経済的支援があっても、急速なV字型回復の可能性はますます低くなっているようです。

現時点で知り得る、この感染症の未知の点は、感染症の拡大と人的損失の規模です。米国、欧州、およびその他の主要経済国で着実に広がる感染は、ほぼ確実に長期的な景気減速をもたらします。回復も、V字型シナリオよりも緩やかなものになるでしょう。加えて、世界経済が脆弱になっているタイミングでウイルスの攻撃が起こりました。関税の引き上げという砂が世界貿易の歯車にすでに入り込んでいたからです。病気を水際で食い止める、あるいはその影響を制限するために国々はバリアを張っており、ウイルスは脱グローバルイゼーションを加速させています。

- ▶ 私達のディシプリンド株式チームは、利益率が不安定で営業レバレッジが高い企業に偏って景気後退の影響が表れると予想しています。このような企業は、需要の鈍化に対応したコスト管理において適応性が低く、また効果が薄い可能性があります。私達は、利益が圧迫されても債務を返済することができ、プラスのキャッシュフローを維持することができる企業に焦点を当てています。 — Peruvemba Satish

短期的ボラティリティのなかで長期キャッシュフローに注目する

2020年に入ると、世界の経済成長の鈍化と低金利のため、長期キャッシュフローの分析が私達のリサーチの重要な要素になりました。コロナウイルスのパンデミックとベア市場を背景に、この長期的な見方はいっそう重要になりました。3つの理由を以下に挙げます。

第1に、景気拡大が緩慢な時期に利益を伸ばせる企業は多くありません。世界の年間成長率予想が長期間にわたって低迷することにより、常に増収増益を実現できる企業を見つけることはさらに難しくなると考えられます。このような環境では、長期的に成長できる能力、つまり、急速な経済成長の恩恵がなくても成長できる企業の能力がキャッシュフロー増加の主な要素になります。従って、長期的な利益成長を支える要素を備えた企業は、長期的にアウトパフォームすると考えられます。このような企業は景気サイクルに頼ることなく成長することができる自助努力の特性をもっている、と私達は考えます。利益を伸ばせる企業が少ないときは、市場はこのような企業にプレミアムを払うと考えています。

第2に、長期キャッシュフローにはより価値があります。企業の将来性を分析するにあたって、今日の低金利のため数年後のキャッシュフロー予想がより魅力的になります。過去4年の間に、すでに長期的成長企業の株価がこの要因を反映しています。

最後に、キャッシュフローを維持する能力がこれまで以上に重要になっています。私達の見解では、企業が持続可能な競争優位性をもつことは、現在のキャッシュフロー成長率と少なくとも同じくらいに重要です。防御能力における優位性をもつことは、企業のキャッシュフローの変動が少なく、長期にわたる高い成長が可能であることを意味します。これらの側面は私達のリサーチ・プロセスにおいて重要な役割を果たします。公表される決算の収益予想は今年度および次の会計年度を対象にしていますが、私達が5年程先を見るのはこのような理由からです。

- ▶ 利益を伸ばせる企業が少ない不確実な環境において、私達は、競争優位性を持ち、景気サイクルの順風がなくてもキャッシュフローを生み出し維持することができる企業への投資機会に焦点をあてています。—Greg Woodhams

市場の変動がエネルギー・セクターの打撃に

2020年年初にかけて私達は、いくつかの産油国による増産がある程度の供給過剰をもたらすと予想していました。しかし、中国でCOVID-19が発生し、工場が閉鎖され、旅行が減少し、総合的な沈滞が世界で2番目に大きな経済を襲ったため、原油の消費が著しく落ち込みました。そして、3月初旬にOPECと同盟国の減産協議が決裂したため、サウジアラビアは強硬な価格引き下げと増産を選択しました。世界中で封鎖措置がとられ、需要減少に追い打ちをかけました。一夜にして原油市場の混沌が循環的な供給過剰に取って代わりました。

エネルギーは、市場の変動によって最も激しい打撃を受けたセクターの一つです。下落したエネルギー株の多くはバリュエーションが魅力的に見えるかもしれませんが、ボラティリティは続く私達は予想しています。パンデミックが落ち着き、価格戦争が終結すれば、いつかは投資機会が現れるかもしれません。バリュエーション投資家として私達は、エネルギー・セクターのなかでも質の良い企業、特に総合エネルギー株や油田サービス株を選好しています。

ConocoPhillipsは私達はその特性を高く評価している企業の一つで、主に石油と天然ガスの探査・掘削に携わっています。同社の優れたキャッシュフロー生成力、強力なバランスシート、堅実な経営陣によって引き続きアウトパフォームする可能性があります。*

- ▶ 2020年年初にアンダーパフォームしていたエネルギー・セクターは、コロナウイルスの蔓延と原油価格を巡る対立から壊滅的な打撃を受けました。バリュエーションは魅力的に見えるかもしれませんが、ボラティリティが続くと考えられるため、慎重に投資を検討することをお勧めします。—Kevin Toney

私達の見解では、企業が持続可能な競争優位性をもつことは、現在のキャッシュフロー成長率と少なくとも同じくらいに重要です。

* 特定の有価証券への言及は、説明のみを目的としたものであり、有価証券の購入または売却を奨励するものではありません。提示された意見および予想は当社の判断を含み、他のポートフォリオ・データと共に、予告なしに変更されることがあります。

米国外の先進国株式



KEITH CREVELING, CFA
共同チーフ・インベストメント・
オフィサー
グローバル・グロース株式

ウイルスはサプライ
チェーンを途絶させた
他、旅行業や接客業
に打撃を与えました。

世界株式市場の混乱の程度は不明

世界の市場は当初、コロナウイルスのインパクトを過小評価していたかもしれません。実際、ウイルスが報道された直後の数週間に、市場は過去最高値を何度か更新しました。今ではこれが世界的な医療危機であることがわかっています。新しい感染者数が毎日発表され、政府、金融機関、保健機構が対応に追われています。消費者はより慎重になり、旅行を減らし、大規模なイベントを避けるなどの行政指示に注意を払っています。

私達はこれに対応して投資戦略の大幅な調整は行っていません。感染症の発生は世界中で企業収益に影響を与えています。航空会社やクルーズ会社、ホテル、レストランなど、観光業や接客業関連の企業が最初に最も大きな打撃を受けました。私達は、感染症発生前からこれらの業界にあまりエクスポージャーはなく、現在もアンダーウェイトしています。コロナウイルスは、中国で発生したことも一因として、ITを含め世界中のサプライチェーンを途絶させています。しかし、私達は、キャンセルされた収益(旅行業など)と遅延している収益を区別することが重要だと考えています。サプライチェーン問題は解決すると考えていますが、一部の需要は大幅に先送りされるかもしれません。

貿易戦争のような政治的要因、またはCOVID-19のような感染症の発生に起因する混乱は、そういったことへの依存を企業が見直す機会になるかもしれません。引き続きこのような構造のトレンド変化をモニターしています。

- ▶ 短期的な混乱にとらわれず、長期投資戦略に沿って行動しましょう。長期的、構造的成長トレンドに変わりはありません。短期的なプレッシャーによって生じた価格の乖離を、集中投資運用に組み入れる好機として見ています。

米国の予備選挙を巡って市場は不安定

米国大統領選挙までの不確実性はいつも株式市場を不安定にします。今年も、コロナウイルスがニュースの見出しを独占し始める以前は、民主党の予備選挙の結果を受けて市場が変動しました。投資家は、候補者が民主党の革新派から出るか、中道派から出るか、そしてそれが11月の大統領選挙と議員選挙にどのように影響するかを気にかけていました。例えば、より革新的な候補者が早い時期に台頭すると、政策がヘルスケア・セクターと金融セクターに影響するのでは、との懸念から、市場が一時下落しました。

バイデン氏が民主党候補と推定されると米国の大統領選挙の行方はやや明確になりました。最近キャンペーンを終えた候補者の多くはバイデン氏を支持しています。中道派の候補者のほうが11月に大統領になっている可能性が高いとされ、また、議員選挙においても民主党候補者の助けになります。

誰が11月に選挙に勝つかについて、私達は特に意見や好みはありません。しかし、それぞれの候補者の政策が、私達がポートフォリオに組み入れることを検討している企業にどのように影響する可能性があるかをモニターしています。大統領選挙のキャンペーンが白熱すると共に、不確実性は高まる一方です。コロナウイルス状況や企業収益の伸び悩みと相まって、この不確実性が世界の株式市場への熱意をくじき、今年を通じてボラティリティを増幅させる可能性があります。

- ▶ 米国の選挙の展開に伴い、私達は、ファンダメンタルズに焦点を当て、ボトムアップで企業を評価していきます。画期的な商品やプロセス、安定した収益に支えられ、増益が堅調な企業に注目しています。政策の変化に左右される企業は要注意です。

新興国株式

コロナウイルスの発生は新興国市場に大きく影響

COVID-19について日々新たな情報が入ってきますが、新興国の経済と収益への最終的な影響を判断するには時期尚早です。パンデミックが始まった中国に目を向ければ、それがどのように世界中に広がるかについて洞察を得られるかも知れません。ウイルスを封じ込めるために中国が取った対策により、何千人もの労働者が自宅に返されるとともに工場が一時閉鎖され、多くの施設で生産と出荷が停止しました。生産停止は世界中のサプライチェーンを途絶させ、世界経済の成長見通しに関する懸念が強まりました。報道される新規患者数の増加が鈍化し、回復率と死亡率のデータが改善するにしたがって市場のセンチメントも改善しました。その後、中国政府の政策は封じ込めから国内経済の復興に移行しました。市場は、中国を超えてアジア、欧州、北米のウイルス蔓延に目を向けました。その後、ウイルスの新たなクラスター（患者の集団）が世界中に出現し、世界保健機構がこの病気をパンデミックと宣言したため、市場のボラティリティが高まりました。

多くの経済危機と同様に、この出来事は新興国市場に非常に大きな影響を及ぼしました。予想通り、新興国株式が大きな打撃を受け、感染症発生前の水準に回復するまでにはしばらく時間を要するかも知れません。現在の下落は、市場のファンダメンタルズの変化よりも、恐怖心と投資家のセンチメントによってもたらされたかと私たちは考えています。ポートフォリオに対して短期的な影響があると予想していますが、2020年後半には改善が見られると予想しています。その間、私たちは、ポートフォリオに含まれている企業を引き続きモニターし、短期および長期のパフォーマンスの可能性を評価していきます。当然のことながら、短期的には、ある企業は他の企業と比較して感染症発生の被害をより多く受けることでしょう。私たちは引き続き企業のファンダメンタルズを分析し、これらの企業が世界貿易とより密接につながっているのか、それとも現地市場により重点を置いているのかを検討します。

- ▶ 短期的には逆風が吹いているものの、新興国市場の長期的な情勢は変わっていないと私たちは考えています。個別企業を評価するにあたって、その基盤にある本質的な部分に焦点を当てることが重要だと考えます。私たちは、地元の消費者と国内経済に焦点をあてた企業を 선호する傾向にあります。電子商取引やオンライン・ゲームに関する企業も、コロナウイルス情勢が解決するまではアウトパフォームする可能性があります。

短期的な懸念はあるものの、長期的なプロセスを重視します

様々なマクロ経済要因が最近の新興国株式市場を圧迫しています。COVID-19に加えて、貿易紛争、米ドル高、世界的な収益成長の鈍化が新興国市場の見通しを曇らせています。このような懸念を認識していますが、この資産クラスの長期的な情勢の魅力に引き続き焦点をあてています。新興国の消費者層の拡大などの長期的なトレンドは依然として堅調です。新興国株式のバリュエーションと収益成長率は、先進国と比較して魅力的です。また、新興国および世界の中央銀行の政策が引き続き景気拡大を支えています。

コロナウイルスを巡る不確実性は認識していますが、新興国株式は最終的にはFRBによる流動性供給と今後の中国の刺激策の恩恵を受けると考えています。利下げによってウイルスの影響が根絶されることはありませんが、FRBは市場の信頼感を高めるために行動をとる用意があることを明確にしています。3月のFRBの動きを受けて、私達の消費株選好はより強まりました。すでに緩和的な状態にさらに刺激策を追加することになるため、FRBの利下げは循環的な回復の可能性を高めます。

このような環境の下、中国とブラジルを引き続きオーバーウェイトしています。コロナウイルス発生以前に始まった減速に中国は積極的に対応しており、私達は、国内経済を刺激するための消費者に焦点を当てた更なる財政政策および金融政策が取られると期待しています。従って、私達は消費関連企業やテクノロジー企業に投資しています。

長い景気後退から抜け出しているブラジルは、その恩恵を受けています。回復を強化し維持するために同国は更なる改革を必要としています。私達は、現在すでに恩恵を受けている投資機会をいくつか見つけています。多角経営の小売企業やレンタカー企業がこれに含まれます。セクター別に見ますと、一般消費財、IT、工業セクターに投資しています。

- ▶ 新興国市場の長期的な状況を見逃さないで下さい。私達は、短期的なマクロ経済のプレッシャーの下でも持ちこたえられる、経営状態の良い企業に焦点を当てています。消費者向け企業は、消費者による需要増から利益を得る立場にあり、アウトパフォームすると考えています。

FRBの施策に伴い、新興国市場は引き続き良好と考えています。コロナウイルスを巡る不確実性は認識していますが、新興国株式は最終的にはFRBの流動性供給と今後の中国の刺激策の恩恵を受けると考えています。

Managing Money, Making An Impact

アメリカン・センチュリー・インベストメンツは、人々の健康改善や命を救う研究を支援しながら、顧客との長期間の関係構築と投資成果の提供にフォーカスする資産運用会社です。我々は“豊かな未来のために”お客様と共にあります。

日々人々は、自分自身、家族、組織、世界全体に対して世界をよりよい場所にするために、投資を行います。それによって、より有意義でよい生活を送り、お金より価値あるものを得ることができます。

我々と一緒に投資した時、あなたは人々の将来に投資し、何百万人もの人生に影響を与えることが出来ます。これはアメリカン・センチュリーが当社の40%以上の株式を保有するスワーズ医学研究所と深い関係があるからです。当社の配当金はガンのような生命を脅かす疾病の原因、治療および予防を解明する研究所を財政面でサポートしております。我々と共に力になりましょう。

特定の有価証券への言及は、説明目的のみのためであり、有価証券の購入または売却を推奨するものではありません。提示された意見および予想は当社の判断を含み、他のポートフォリオ・データとともに、予告なしに変更されることがあります。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのファンドの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

証券投資のリターンと元本は変動します。売却時の時価は投資コストを下回ることがあります。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

当資料は、参考情報の提供を目的としてアメリカン・センチュリー・インベストメンツの情報を基に、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般や特定銘柄の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

当該レポートは、アメリカン・センチュリー・インベストメンツが作成し、それを日本語に翻訳したものです。英語と日本語が同じ意味になるように最善を尽くしておりますが、英語版レポートと日本語版レポートの内容に不一致があった場合は、英語版レポートが優先します。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111

330 Madison Avenue
9th Floor
New York, NY 10017

1665 Charleston Road
Mountain View, CA 94043

2121 Rosecrans Avenue
Suite 4345
El Segundo, CA 90245

506-08 St. George's Building
2 Ice House Street, Central
Hong Kong

12 Henrietta Street
4th Floor
London, WC2E 8LH

Governor Phillip Tower
RM 3676 L36
1 Farrer Place
Sydney, NSW 2000, Australia

Suite 4-101
Taunusanlage 8
60329 Frankfurt
Germany



americancentury.com

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2020年4月現在

| | |
|---------------------------------|---|
| ご購入時手数料 《上限3.85%(税込み)》 | 投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。 |
| 運用管理費用(信託報酬) 《上限2.222%(税込み)》 | 投資家はその投資信託を保有する期間に応じたかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。 |
| 信託財産留保額 《上限0.5%》 | 投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。 |
| その他の費用 | 上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会